

第3回いわき市下水道事業等経営審議会議事録

○ 日 時 令和7年5月26日(月) 午前10時00分～午前11時00分

○ 場 所 いわき市文化センター 1階 大講義室

○ 出席者 1 委員

(出席：14名)

飯田 教郎、井上 久美子、岡 光義、河合 伸、
斉藤 隆、白石 幸一、鈴木 由美、高荒 智子
橋元 一美、蛭田 光治、松崎 清美、馬目 健二
柳澤 晋、山田 貴浩

(欠席：1名)

金田 晴美

※五十音順・敬称略

2 事務局

・生活環境部

蛭田部長、七海次長

・生活排水対策室

佐藤室長

・経営企画課

佐藤課長、鈴木課長補佐、
内田経営企画係長、野崎財務係長、渡辺業務係長
根本主査、草野事務主任

・下水道事業課

安積課長、山崎計画管理係長

・北部下水道管理事務所

志賀所長

・南部下水道管理事務所

小松所長

○ 配布資料

- ・第3回いわき市下水道事業等経営審議会資料
「地域汚水処理事業等の現状・あり方について」
- ・いわき市デザインマンホールマップ
- ・マンホールカード(4種)

1 開会

令和7年度に入り初めての審議会であるため、人事異動に伴う職員の紹介を行った。

2 報告

(前回の議事録について)

第2回経営審議会の議事録について、議事録署名人による署名後、1月17日に市公式ホームページへ掲載したことを報告した。

3 議事

(1) 議事録署名人の選出について

今回の議事録署名人は、会長の指名により、白石委員と鈴木委員に決定した。

(2) 地域汚水処理事業等の現状・あり方について

- ・事務局説明
- ・質疑応答

(委員)

25ページの「広域化・共同化・最適化」について、再度説明を願う。

(事務局)

広域化は、他の市町村と合併すること。共同化は共に事業を行うこと。最適化は、施設をダウンサイジング（縮小化）することである。

(委員)

広域化・共同化について、現段階で他市町村と共同で行う具体的なイメージはあるのか。

(事務局)

今のところはない。市内でも団地・農業集落等が点在している状況であり、広域化・共同化については難しいと考えている。

(委員)

そのレベルだと、資料に記載するには少し早いと思うがいかがか。

(事務局)

経営戦略の中では、考える選択肢として示しているため、今後、現実的に実現可能なものを絞っていきたい。

(委員)

農業集落排水事業に関しては、新しい施設で、接続率向上を積極的に呼

びかけているとのことであるが、戸数や世帯人員が減少傾向にあるため、厳しい状況は変わらないと思う。

地域汚水処理事業に関しては、定額の料金体系となっており、使用料が他の事業に比べかなり安いいため、料金設定を見直す、または、市街地に比較的近いため、大規模修繕に合わせて公共下水道に繋げるという考え方は無謀か。

(事務局)

農業集落排水事業の接続率は、地域の方の協力等で上がってはいるが、かなり厳しい状況である。

地域汚水処理事業は、市街地に近いところもあり、公共下水道への接続も考え方の1つだと思うので、市としても案などを提示させていただいて皆様と協議していきたい。また、料金設定についても、開始当初の金額のままであり、使用水量と関係がない料金体系となっているため、今後検討していきたい。

(委員)

更新が必要な機器類の話があったが、導入当時の耐用年数内には収まっているのか。

(事務局)

すべて耐用年数を超過しており、延命化を行いながら使用している状況である。

(委員)

地域汚水処理施設に比べると農業集落排水施設は比較的新しいが、農業集落排水施設においても耐用年数は経過しているのか。

(事務局)

お見込みの通りである。

(委員)

24 ページのグラフにおいて、左側が施設使用料（収入に当たる部分）で、右側が維持管理費（支出にあたる部分）であり、この差し引き額が赤字となると思うが、これまでの赤字については、どのように埋め合わせしてきているのか。

(事務局)

資料については、会計全体ではなく施設使用料と維持管理費のみを記載している。実際には、一般会計からの繰り入れもあり、赤字は補填されることとなる。

(委員)

企業債の借り入れに関する返済分なども、維持管理費の中に含まれて計上されているのか。

(事務局)

別で計上している。

4 その他

次回開催日は7月下旬頃を予定。決まり次第、連絡する旨を案内した。
令和6年度の決算報告等について説明予定。

5 閉会

以上